

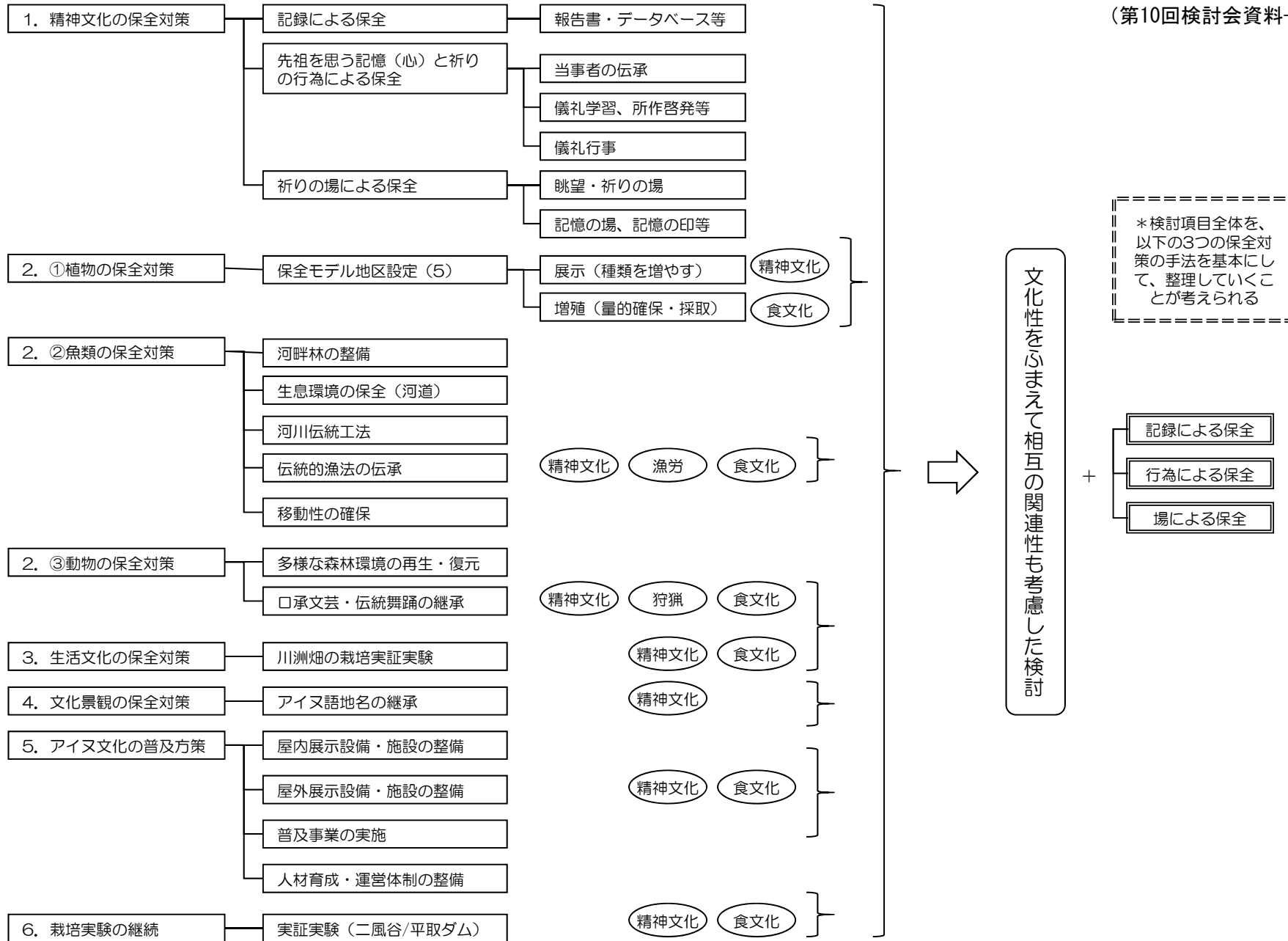
地域文化に係る調査・検討について

■検討項目

1. 精神文化への対応
2. 生物の生存環境への対応
3. 生活文化への対応
4. 文化景観としての地形・事物・事象への対応
5. 保全対策に係るアイヌ文化普及への対応
6. 栽培実験の継続への対応

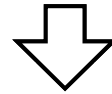
検討項目に関するこれまでの調査・検討状況について

(第10回検討会資料-3より引用)



地域文化に係る調査・検討の流れ

1. 地域文化に係る保全対策の基本的考え方の検討



2. 地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

(1) 基礎調査の実施

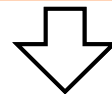
- ・ 地域の関係者の意向調査
- ・ 現地の保全対象の調査

(2) 試行調査の実施

- ・ 川洲畑、伝統漁法の再現調査
- ・ 地域文化普及方策の試行調査
- ・ 「記憶の印」周辺の保全対策調査

(3) モニタリング調査の実施

- ・ 有用植物移植試験及びモニタリング調査



3. 地域文化に係る保全対策の規模・時期等の検討

平成24年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

① 平成24年7月27日（金） 第13回平取ダム地域文化保全対策検討会



- ・ 地域文化に係る調査・検討について
- ・ H23年度調査結果の報告
- ・ H24年度調査に関する審議

②平成24年 9月13日（木） 現地視察



- ・ 付替道路工事箇所
- ・ 植物保全区S-05
- ・ 川洲畑（芽生地区）
- ・ カムイワッカ

③ カムイワッカの検討状況

◆カムイワッカの保全対策の基本方針

①カムイワッカの形状保全と周辺の緑化

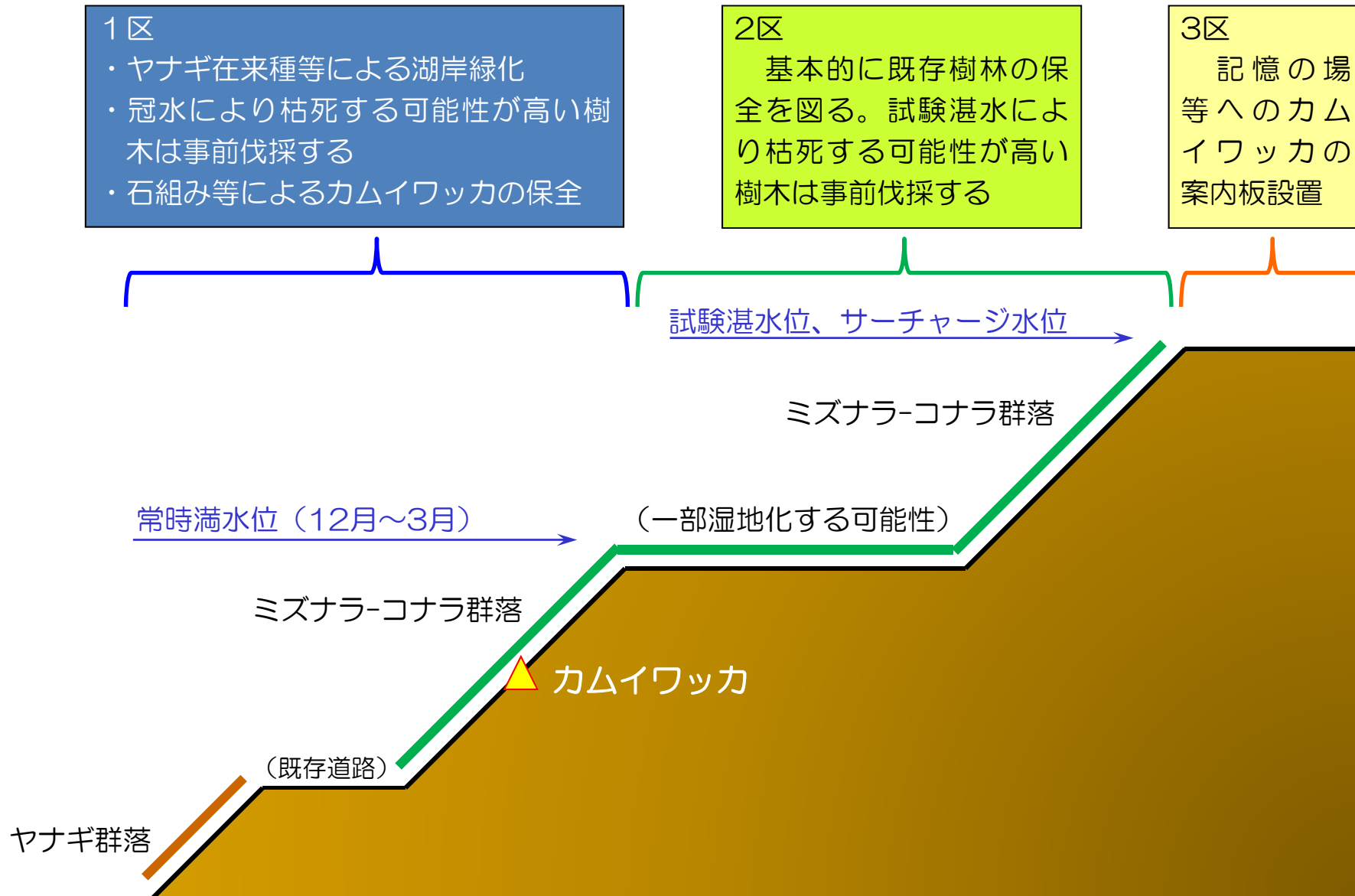
カムイワッカに対してはダム湖の水位変動や結氷等に伴う土壌浸食による影響が懸念される。このため、周辺の自然石などを利用した石組みなどによる補強や、侵食に強い植生基盤や耐水性に優れる樹種の導入による湖岸緑化を検討し、周辺の自然景観との調和に努める。

②カムイワッカの利用

運用水位の低い時期（4月～11月）における地域の利用を想定し、採水などの利便性に配慮した検討をする。記憶の場等へのカムイワッカの案内板設置による文化継承を図る。

平成24年度の地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

◆カムイワッカの保全対策の構成イメージ



平成25年度の調査・検討内容について

保全対策 検討項目	保全対策の基本的な 考え方	H25年度調査・検討予定
精神文化	記録による保全、 記憶と祈りの行為による 保全、 祈りの場による保全 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域関係者の意向確認結果に基づき、精神文化の保全対策に必要な調査を実施し、調査内容を整理する ・ 付替道路周辺の保全対象の現地調査を行い、対策の実施に向けた検討を行う
生物の 生存環境	植物の保全地区設定 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植生保全区S-05地区の整備計画案に基づき、移植等を実施し、活着等の生育状況を確認する ・ 次年度以降の植栽計画を精査し、必要に応じて配置の再検討を行う
生活文化	伝統農法(川洲畑)の継承、 伝統漁法の継承 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつての栽培様式(川洲畑)について、既存の調査結果を踏まえて、試験適地の選定、栽培試験の実施、モニタリング調査を行う ・ 食文化の再現調査を行う ・ 川洲畑調査マニュアル(案)を更新する
アイヌ文化 普及	地域文化の普及 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつての伝統漁法の漁具や漁法を再現する ・ 食文化の再現調査を行う ・ 調査結果をとりまとめ、伝統漁法再現マニュアル(案)を更新する
栽培試験の 継続	実証試験の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有用植物の移植試験及び播種栽培試験を行う ・ 有用植物の種ごとの移植栽培マニュアル及び播種栽培マニュアルを更新する ・ モニタリング調査及び試験地の整備作業 ・ モニタリング計画の更新

平成25年度の検討会での審議内容予定について

- ・ これまでの保全対策の検討を踏まえた、中間とりまとめ（案）
- ・ 平成25年度の調査・検討内容の報告